

平成28年 省エネルギー基準対応

自己適合宣言書文書番号：LXEC-1607

JIS Q 17050-1に基づく自己適合宣言書（附属書）：DWG033

作成：2022年1月15日

更新：2024年1月31日

株式会社LIXIL

サッシ・ドア事業部 ドアSBU

※1.各熱貫流率が、以下①、②のいずれに準拠しているかを掲載しています。

①「建具とガラスの組み合わせ」による熱貫流率

②試験、計算による熱貫流率 ※2

※2.試験は「JIS A 4710」、計算は「JIS A 2102」または国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「熱貫流率及び線熱貫流率 ドアの簡易的評価」に基づく代表試験体の熱貫流率です。

代表試験体は、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「住宅・建築物の省エネルギー基準及び低炭素建築物の認定基準に関する技術情報」に基づきます。

※3.表記されている開口部の日射熱取得率は、日射取得型のLow-E複層ガラスを組み込んだ場合の計算結果となります。

玄関引戸JS

枠と戸の仕様	対象型番	開閉形式		ガラスの仕様	ガラス中央部の熱貫流率 [W/(m <sup>2</sup> K)]	開口部の熱貫流率 [W/(m <sup>2</sup> K)]		開口部の日射熱取得率(η)		性能根拠 ※1	
						付属部材無し	風除室あり	付属部材無し	風除室あり	①	②
枠：金属製又はその他 戸：金属製又はその他	28P型	2枚建戸	ランマなし	障子：組み込みガラス	—	4.55	3.13	0.15	0.11		○
	29P型	2枚建戸	ランマなし	障子：組み込みガラス	—	4.26	2.99	0.14	0.10		○
	21P型	2枚建戸	ランマなし	障子：組み込みガラス	—	4.59	3.15	0.16	0.11		○
		2枚建戸	ランマ付	障子：組み込みガラス ※3 ランマ：Low-E3-Ar8-F4K 又は右記熱貫流率のガラス	1.7以下	4.38	3.05	0.15	0.10		○
				障子：組み込みガラス ランマ：複層ガラス/空気層6mm以上 又は右記熱貫流率のガラス	3.3以下	4.55	3.13	0.15	0.11		○
金属製建具	11P型、12P型、14P型、16P型、23P型、24P型、25P型、26P型、30P型、31P型、32P型	2枚建戸 4枚建戸	ランマなし	障子：組み込みガラス（複層ガラス）	—	4.03	2.88	0.63	0.58		○
				障子：組み込みガラス（Low-E 複層ガラス）	—	2.81	2.20	0.51	0.47		○
				障子：組み込みガラス（Low-E 安全合わせ複層ガラス(乳白色)）	—	3.54	2.62	0.32	0.30		○
		2枚建戸 4枚建戸	ランマ付	障子：組み込みガラス（複層ガラス） ランマ：複層ガラス/空気層8mm以上 又は右記熱貫流率のガラス	3.1以下	4.03	2.88	0.63	0.58		○
				障子：組み込みガラス（Low-E 複層ガラス） ※3 ランマ：Low-E複層ガラス/ 空気層ガス入り9mm以上 又は右記熱貫流率のガラス	1.6以下	2.81	2.20	0.51	0.47		○
				障子：組み込みガラス（Low-E安全合わせ複層ガラス(乳白色)） ランマ：Low-E安全合わせ複層ガラス(乳白色)/ 空気層6mm以上 又は右記熱貫流率のガラス	2.5以下	3.54	2.62	0.32	0.30		○
				障子：組み込みガラス（ガラス種類を問わない） ランマ：複層ガラス/空気層6mm以上8mm未満 又は右記熱貫流率のガラス	3.3以下	4.19	2.96	0.63	0.58		○
				障子：組み込みガラス（複層ガラス）	—	4.03	2.88	0.63	0.58		○
				障子：組み込みガラス（Low-E 複層ガラス）	—	2.81	2.20	0.51	0.47		○
				障子：組み込みガラス（Low-E安全合わせ複層ガラス(乳白色)）	—	3.54	2.62	0.32	0.30		○